

## 7月1日以降の授業について

狭山ヶ丘高等学校・同付属中学校校長  
小川 義男

6月8日（月）より、時差登校による短縮40分での授業を実施してきました。7月より、通常の50分授業に戻すことが可能か否か、新型コロナウイルスの新規感染者数の推移を、注視して参りました。ところが、東京都における新型コロナウイルスの新規感染者数は、衰える気配を見せるどころか、この1～2週間増加に転じています。埼玉県においても、沈静化したとはとても言えない状況です。

このような現状に鑑み、現在行っている9時30分のHR開始、40分での短縮授業を、7月以降も継続することに致しました。期末考査の期間もHR開始時刻は変わりませんが、試験時間は50分間で行います。感染症予防に、可能な限りの対策を行いながら、生徒の安全を第一に、学力向上に努めて参ります。

これまで、体温が平熱より0.5度以上高い場合、出席停止としておりましたが、7月からは、学校医の助言に基づき、次のように変更致します。平熱が36.4度以下の生徒は、1.0度以上発熱した場合、出席停止、平熱が36.5度以上の生徒は、37.5度以上発熱した場合、出席停止と致します。なお、発熱以外の症状による体調不良の場合の扱いは、従来通りです。全国的な趨勢を見極めた上での判断です。宜しくお願い致します。

また、これまで閉鎖しておりました3号館5階の図書室を、高校3年生に限り、放課後から午後7時まで、利用可能と致します。利用する際には、マスクの着用・私語の禁止・手指消毒を徹底させる等、安全面には十分留意した上、開室致します。午後7時の下校用スクールバスも、図書室利用者のため、運行致します。

今後の新型コロナウイルスの蔓延状況によっては、上記内容を変更せざるを得なくなるかもしれません。ご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。